

16. その他

16-1. 須美江家族旅行村 利用状況

年 度	施設利用件数（宿泊）				テニスコート (人)	海水浴場 (人)
	総 数	ケビン	台 付 キャンプ場	オ ー ト キャンプ場		
平成 30 年度	6,778	5,124	788	866	6,059	37,500
令和 元 年度	7,274	5,370	801	1,103	5,015	21,250
2	4,382	3,156	255	971	3,217	9,250
3	5,443	4,002	279	1,162	3,470	14,500
4	5,717	4,344	251	1,122	6,179	30,750

資料：観光戦略課

16-2. ビーチの森・ファミリー水族館 利用状況

単位：人

年 度	入場者数				
	ビーチの森	ファミリー 水族館			
			大 人	子 供	
平成27年度	65,682	14,519	6,795	7,724	
28	58,243	16,201	7,744	8,457	
29	60,061	14,881	7,595	7,286	
30	68,283	16,100	7,224	8,876	
令和元年度	59,827	15,696	7,451	8,245	
2	39,238	9,560	4,729	4,831	
3	39,600	14,741	7,253	7,488	
4	39,830	16,962	8,234	8,728	
5	4月	3,894	1,169	587	582
	5	7,505	2,449	1,220	1,229
	6	1,372	1,095	533	562
	7	1,483	2,072	1,018	1,054
	8	1,495	2,639	1,271	1,368

資料：観光戦略課

16-3. ヘルストピア 利用状況

単位：人

年 度	利用者数	内 訳			(再掲)	
		大 人	子 供	幼 児	昼 間	夜 間
平成 27 年度	301,381	261,658	30,001	9,722	202,066	99,315
28	272,509	239,014	25,557	7,938	180,804	91,705
29	272,934	240,070	24,804	8,060	180,388	92,546
30	235,073	199,531	26,428	9,114	161,085	73,988
令和元年度	250,193	214,218	26,127	9,848	174,120	76,073
2	104,233	97,394	4,862	1,977	82,317	21,916
3	152,156	134,989	12,408	4,759	115,752	36,404
4	173,473	151,180	15,868	6,425	131,401	42,072
令和 4 年 4月	13,641	12,460	810	371	10,175	3,466
5月	14,944	13,158	1,285	501	11,455	3,489
6月	15,882	13,631	1,619	632	12,255	3,627
7月	19,677	15,224	3,341	1,112	15,760	3,917
8月	19,158	14,172	3,906	1,080	15,329	3,829
9月	14,145	12,454	1,081	610	10,365	3,780
10月	13,934	12,766	762	406	10,299	3,635
11月	13,891	13,019	571	301	10,124	3,767
12月	15,512	14,457	692	363	11,472	4,040
令和 5 年 1月	15,474	14,297	741	436	11,466	4,008
2月	2,129	1,900	131	98	1,597	532
3月	15,086	13,642	929	515	11,104	3,982

資料：総合福祉課

16-4. ETOランド 利用状況

年度及び月	入園者総数	宿泊施設利用件数		電動カート ゴーカート(回)
		館内 (人)	貸別荘 (棟)	
平成 27 年度	7,580	1,126	141	3,005
28	8,580	936	137	2,379
29	6,772	955	71	2,429
30	8,403	1,056	123	2,840
令和 元 年度	7,096	-	121	2,448
2	4,028	-	56	1,831
3	6,036	-	91	4,104
4	7,074	-	108	5,019
令和4年 4月	634	-	10	548
5月	1,445	-	11	1,272
6月	417	-	2	322
7月	571	-	13	275
8月	1,077	-	35	602
9月	192	-	3	104
10月	466	-	8	397
11月	493	-	16	267
12月	212	-	3	77
令和5年 1月	560	-	-	400
2月	465	-	-	390
3月	542	-	7	365

資料：北方総合支所 地域振興課

16-5. 浜木綿村 利用状況

単位：人

年度及び月	利 用 者 数						海水浴場 (人)
	総 数	道の駅		海鮮館	その他の施設 (ケビンほ か)	未 越 レジャーパーク	
		売店	軽食				
平成27年度	143,870	54,320	36,266	42,290	10,994	-	67,500
28	130,616	47,069	33,438	38,859	11,250	-	95,000
29	129,492	49,271	28,922	41,588	9,711	-	70,000
30	122,791	47,334	24,214	42,372	8,871	-	18,382
令和元年度	116,860	47,546	21,198	40,678	7,438	-	15,357
2	97,685	39,724	16,525	37,579	3,857	-	4,313
3	97,360	42,784	18,284	35,796	496	-	10,213
4	97,157	48,553	20,256	21,008	7,340	-	18,063
令和4年 4月	7,330	3,606	1,631	1,544	549	-	-
5月	10,886	5,329	2,764	1,960	833	-	-
6月	6,166	3,222	1,160	1,494	290	-	-
7月	9,294	4,166	2,177	1,735	1,216	-	5,742
8月	15,155	6,394	4,155	2,370	2,236	-	12,321
9月	6,615	3,313	1,277	1,537	488	-	-
10月	9,521	4,751	1,916	2,305	549	-	-
11月	7,760	4,272	1,359	1,824	305	-	-
12月	5,333	3,025	590	1,472	246	-	-
令和5年 1月	5,693	3,201	904	1,422	166	-	-
2月	5,724	3,184	875	1,493	172	-	-
3月	7,680	4,090	1,448	1,852	290	-	-

資料：北浦総合支所 地域振興課

16-6. 祝子川温泉美人の湯 利用状況

単位：人

年度及び月	入場者数		
	総 数	大 人	子 供
平成27年度	12,401	11,855	546
28	9,431	9,100	331
29	10,430	10,051	379
30	9,300	8,992	308
令和元年度	7,780	7,512	268
2	3,084	2,984	100
3	1,604	1,535	69
4	4,207	4,034	173
令和4年			
4月	140	138	2
5月	778	758	20
6月	321	315	6
7月	417	396	21
8月	525	472	53
9月	91	91	-
10月	246	240	6
11月	358	343	15
12月	262	259	3
令和5年			
1月	434	411	23
2月	320	310	10
3月	315	301	14

資料：北川総合支所 地域振興課

16-7. 延岡市内の城跡

城名	説明
井上城	<p>古城町にある中世に延岡地域を支配していた土持氏の居城の一つで、天守山とも称される。築城の年代は明確ではないが、南北朝期(14世紀)の築城とする説が有力である。本丸・西の丸・北の丸等の曲輪から構成される周囲約1.1km、標高69mの平山城で、城の北側を流れる大瀬川を天然の堀とし、現在は道路となっているが、愛宕山との間に空堀を設け、敵の攻撃に備えていたと考えられている。</p> <p>「延岡旧記」などによると、土持氏は井上城に100年間ほど居城していたが、永享元年(1429)に西階城に移ったとされている。</p>
西階城	<p>西階町にある土持氏の居城の一つで、宝坂城とも称される。「延陵世鑑」では、土持氏が井上城から永享元年(1429)に居城を移したとされている。本丸・二の丸・三の丸等の曲輪から構成される周囲約1km、標高62mの平山城で、城の北側を流れるに五ヶ瀬川と、南側を流れる大瀬川を天然の堀としている。</p> <p>「延陵世鑑」などによると、災難が多かったことなどから、土持氏はわずか16年間しか居城せず、その後、松尾城に移ったとされている。</p>
松尾城	<p>松山町にある土持氏の最期の居城で、「延陵世鑑」では、文安3年(1446)の築城とされている。東の丸・中の丸・西の丸等の曲輪から構成される周囲約1.5km、標高55mの平山城で、城の西側には小川が、そして南側には五ヶ瀬川が流れ、さらに北側は高平山へと続く丘陵となっているなど、地形を活かした天然の要害となっている。</p> <p>松尾城を居城としていた土持氏は、天正6年(1578)4月15日、大友宗麟によって滅ぼされ、同15年(1587)からは、新たな領主として入封してきた高橋元種の居城となったが、元種は、慶長8年(1603)に延岡城に移り、それに伴い松尾城は廃城となった。</p>
延岡城	<p>本小路にある、江戸時代における歴代の延岡藩主の居城で、「延陵世鑑」では、慶長8年(1603)の築城とされている。天守台・本丸・二の丸・三の丸といった曲輪から構成される周囲約2.2km、標高53mの本城と、そこからやや西側に離れた西の丸の二郭からなる平山城で、北側の五ヶ瀬川、南側の大瀬川を天然の外堀とし、城の周囲には内堀をめぐらしていた。現在、内堀はすべて埋め立てられており、その姿を見ることはできない。</p> <p>明治3年(1870)に、延岡城を廃止し、薬園として利用したいとの伺いが延岡藩より明治政府に提出されており、その後、廃城になったと考えられている。</p>
浦尻水軍城	<p>浦城町の浦尻湾に突出した丘陵上にある、標高56mの平山城で、市内唯一の水軍(海賊)城である。築城者や築城年代は明確ではないが、「オオヤ千軒」「スガ千軒」「船隠し」など、城との関係性を窺わせる地名と共に、屋敷跡や棧橋跡らしきものが残っている。</p> <p>最後の城主は松田義清と言い、天正6年(1578)、大友宗麟によって滅ぼされたと伝えられている。</p>

資料：歴史・文化都市推進課

16-8. 延岡市のあゆみ

年	事項	年	事項
昭和 5年 4月	延岡町・岡富村・恒富村が合併して新しく延岡町ができた。	昭和13年 4月	延岡市常備消防部を創設した。
6年 6月	恒富に日本ベンベルグ絹糸(株)が創業し中川原町に旭絹織(株)延岡工場の建設がはじまった。	6月	延岡保健所が設置された。
7年 6月	追内町に日本窒素火薬(株)延岡工場が建設された。	7月	延岡郵便局が南町の新築局舎に移転した。
12月	日本国有鉄道(現在のJR)日之影線工事の請負契約が締結された。	14年 2月	恒富浜の山(現在長浜町)に日本窒素火薬(株)の雷管工場が完成した。
8年 2月	延岡町が市制を施行した。	8月	内藤正道氏が本小路の旧邸を延岡市に寄付した。
4月	初代市長に仲田又二郎氏が就任した。	8月	県立延岡図書館が再建された。
5月	延岡ガス(株)が創設され、翌9年9月からガス供給をはじめた。	9月	大洪水で大瀬橋が流失し、須崎橋は半壊した。
9年 4月	惣領町に延岡高等小学校を創設し、延岡・岡富・恒富の各小学校高等科を統合した。	11月	日之影線が日之影まで開通した。
4月	須崎橋・五ヶ瀬橋が架設された。	15年 4月	私立実践女学校が設置された。(昭和20年焼失した。)
9月	延岡商工会議所が創立された。	16年 4月	延岡高等小学校内に市立延岡高等女学校を新設した。(19年県立高等女学校に合併移管)
10年 2月	日之影線が日向岡元まで開通した。	5月	延浦航船(株)が創設された。(22年に日豊汽船(株)と改称した。)
3月	歌人若山牧水の歌碑を城山公園に建てた。	10月	三浦虎雄氏が市長に就任した。
10月	板田橋が架設された。	17年 3月	日高保三郎氏が三松公園を市に寄付した。
11月	天皇陛下をお迎えした。城山から全市を展望され、ベンベルグ工場をご視察になった。	4月	九州配電(株)が設立され、延岡電気(株)は統合されて宮崎支店延岡電気所となった。
11年 3月	川島橋が架設された。	5月	三浦虎雄氏は衆議院議員選挙立候補のため4月に市長を辞職したが、再び市長に就任した。
4月	日之影線が川水流まで開通した。	12月	延岡ガス(株)は宮崎ガス(株)に合併し延岡営業所となった。
8月	塵芥焼却場ができた。	18年 3月	宮崎交通(株)が創立し、延岡営業所が設置された。
10月	25日、東海村と伊形村が延岡市に合併した。	9月	40日あまり雨が降り続き、9月20日大洪水となり川中・岡富・東海地域で大損害をうけた。
12年 1月	仲田市長が退職した。	10月	延岡商工会議所は宮崎商工経済会延岡支部となる。(21年延岡商工会議所に改組された。)
2月	19日午後10時市庁舎から出火し、庁舎及び隣接の県立図書館を全焼した。	19年 3月	市水産会は漁業組合と統合して漁業会の設立となり、漁業組合はその各支部となった。
3月	鈴木憲太郎氏が市長に就任したが、衆議院議員選挙立候補のため4月に退職した。	3月	市農業会と産業組合は統合されて市農業会を設立した。産業組合はその各支部となった。
5月	鈴木憲太郎氏が再び市長に就任したが、6月に辞職した。		
7月	安賀多橋が架設された。		
9月	大島文彦氏が市長に就任した。		
9月	日之影線が槇峰まで開通した。		
13年 4月	出北町に東小学校が新設された。		

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和19年 4月	県立延岡工業学校が開校した。	昭和23年 4月	県立延岡恒富高等学校、県立延岡岡富高等学校が設置された。
20年 3月	はじめて爆弾が投下された。 (伊福形の松林)	4月	農業会を廃し、農業協同組合が発足した。
3月	日室航材工業(株)が設立された。 (旭有機材(株)の前身)	5月	漁業会を解消し、漁業協同組合に改組した。
6月	29日午前1時すぎ焼夷弾攻撃を受け、市の中心地域は焦土と化し、市庁舎も焼失した。	5月	延岡市農業共済会が設立した。
7月	レーヨン寄宿舎が被爆、死傷者が続出した。	6月	大瀬橋が完成した。
8月	5日北小路に爆弾が投下され、死傷者を出した。また30戸あまりを爆破された。	7月	仲田又次郎氏が市長に就任した。
8月	15日終戦。17日から市役所を岡富国民学校講堂に移した。	8月	国立水産試験場土々呂分場が開設された。
8月	米軍が進駐し、雷管工場寄宿舎を宿舎とした。	9月	祝子橋が完成した。
21年 1月	新しい制度による民生委員が発令された。	24年 4月	延岡市国民健康保険を創設した。
3月	三浦虎雄氏が公職追放により辞職し鈴木憲太郎氏が市長に就任した。	4月	岡富中学校が開校した。
3月	NHK宮崎放送局の支局が内藤記念館跡に設置された。(37年に北北に移転)	4月	恒富高等学校と岡富高等学校が合併して恒富高等学校となった。
4月	日室化学工業(株)は、社名を旭化成工業(株)と改称した。	6月	天皇陛下をお迎えした。ペンベルグ工場をご視察になった。
9月	宮崎県延岡市復興事務所が設置された。	8月	東海中学校が現在地に完成した。
22年 4月	佐藤千吉郎氏が市長に就任した。	9月	日吉小次郎顕彰碑と胸像が城山に建った。
4月	学制改革により新制中学校発足。(5月8日 延岡中、東海中、土々呂中、南方中、島野浦中、熊野江中の各学校が開校した。)	10月	延岡小学校の新校舎が本小路に落成。
4月	図書館が県立から市立となった。	11月	延岡市文化連盟が結成された。
4月	延岡市選挙管理委員会が設置された。	25年 1月	五ヶ瀬橋が近代的な橋として完成した。
4月	作物報告事務所延岡出張所が本小路に、宮崎県延岡労政事務所が本町に開設された。	3月	延岡手形交換所が設立された。
6月	延岡市監査委員会が設置された。	4月	県立延岡向洋高等学校が開校した。
12月	延岡市議会事務局が設置された。	4月	失業対策事業がはじまった。
23年 3月	延岡市公安委員会が設置された。	9月	キジア台風で大瀬橋が流失した。
3月	延岡市警察署が設置された。	12月	固定資産評価員がはじめて任命された。
4月	南中学校、中川原旭小学校が開校した。	26年 3月	五ヶ瀬川政府直轄河川工事編入が決定した。
		6月	延岡市社会福祉協議会が結成された。
		8月	人事委員会、農業委員会が発足した。
		10月	延岡市福祉事務所が設置された。
		27年 3月	最初の公立保育所が山下町に開設された。
		4月	上下水道の布設築造が認可された。
		7月	三浦虎雄氏が市長に就任した。
		7月	住民登録制が実施された。
		7月	旭ダウ(株)が発足した。
		8月	延岡市公平委員会が設置された。

16-8. 延岡市のあゆみ(つづき)

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和27年11月	延岡市教育委員会が発足した。	昭和35年 4月	上水道事業落成式が愛宕山配水池で行われた。
28年 1月	黒岩中学校が独立した。	10月	旭化成食品工場が完成した。
4月	日豊本線北延岡駅が開業した。	36年 3月	延岡局～宮崎局間の電話が直通となった。
4月	須崎橋が完成した。	4月	安井小学校が独立開校した。
5月	大瀬橋が完成した。	6月	延岡測候所が業務を開始した。
10月	旭化成工業(株)が公会堂(野口記念館)を建設(30年完成)、市に寄付した。	11月	西階総合開発事業が始まった。
29年 7月	市公安委員会、市警察署が廃止され、宮崎県延岡警察署が発足した。	11月	方財防潮堤ができあがった。
9月	旭化成が延岡に工員養成所を開設した。	37年 3月	日向延岡新産業都市指定促進期成同盟が組織された。
10月	日之影線でディーゼルカーの運転がはじまった。	3月	国民金融公庫出張所が開設された。
30年 3月	小山橋が完成した。	5月	皇太子御夫妻が来延され、ベンベルグ工場などをご視察になった。
4月	延岡市・南方村・南浦村が合併した。	5月	西階中学校が開校した。
4月	県立延岡ろう学校(土々呂町)が設立された。	7月	「新ばんば踊り」の歌曲と踊りができた。
4月	緑ヶ丘学園高等学校が開校した。	9月	恒富中学校が独立開校した。
7月	延岡市育英会が発立され、奨学資金の貸付けを始めた。また東京に学生寮を設置した。	9月	愛宕山に展望台ができた。
9月	市庁舎が新築落成した。	38年 2月	市民憲章、市歌、市民歌が制定発表された。
4月	旭中学校が開校した。	2月	仲田又次郎氏に名誉市民の称号が贈られた。
4月	青木善祐氏が市長に就任した。	2月	新しい城山の時報鐘の入魂式が行われた。
7月	市政連絡員が設置された。	3月	第1回西日本マラソン大会が開催された。
7月	敬老年金(現在の長寿祝金;米寿、100歳)支給条例を制定した。	3月	亀井橋が架け替えられた。
11月	MRT延岡放送局が緑ヶ丘に開局した。	4月	県立延岡西高等学校が開校した。
32年 2月	三浦虎雄氏に名誉市民の称号が贈られた。	39年 1月	日向延岡地区新産業都市に指定された。
4月	町区町名の改正が実施された。	2月	旭化成ナイロン工場が完成した。
4月	今山に大師銅像が建立された。	4月	折小野良一氏が再び市長に就任した。
4月	延岡青年会議所が発足した。	4月	青少年補導センター、家庭児童相談室を設置した。
7月	旭化成カシロン工場が完成した。	12月	旭化成が市立図書館を新築寄贈した。
12月	広島庫夫選手が朝日国際マラソンで優勝した。	40年 3月	祖母山・傾山・大崩山山系が国定公園に指定された。
33年 4月	県立延岡商業高等学校が開校した。	4月	延岡学園高等学校が開校した。
4月	西小学校が独立開校した。	7月	市内6農協(東海を除く)が合併して、延岡市農業協同組合として発足した。
34年 4月	緑ヶ丘小学校が独立開校した。		
35年 3月	し尿処理場ができた。		
4月	折小野良一氏が市長に就任した。		

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和40年 7月	須崎橋が架け替えられた。	昭和48年 6月	延岡卸商業センターの完工式が行われた。
8月	西階野球場が完成した。	9月	東海、北川、北浦、北方の4農協が合併し、延岡農業協同組合として発足した。
41年 4月	一ヶ岡開発事務所を設置した。	49年 1月	五ヶ瀬川水系水質汚濁防止対策協議会が発足した。
4月	延岡―南浦―北浦を結ぶ県道が完成した。	2月	日豊海岸が国定公園の指定を受けた。
42年 1月	房野博氏が市長に就任した。	4月	清掃工場が完成した。
4月	緑ヶ丘学園短期大学が開学した。	4月	日豊本線幸崎～南宮崎間が電化された。
4月	浦城中学校が独立開校した。	10月	延岡鉄工団地が完成した。
4月	県立延岡養護学校が開校した。	50年 1月	房野博氏が三たび市長に就任した。
5月	新祝子橋（10号線）が完成した。	3月	出北通線に立体交差橋が完成した。
7月	鷺島橋が完成した。	10月	延岡大橋が2車線で開通した。
7月	延岡バイパス（10号線）稲葉崎～昭和町間が開通した。	51年 1月	追内バイパス浦城トンネルが完成した。
43年 4月	西階陸上競技場が完成した。	3月	大武運動公園体育館が完成した。
7月	一ヶ岡終末処理場が完成した。	6月	旭化成第1火力発電所集合煙突が完成した。
8月	延岡から延岡商業高校が甲子園に初出場した。	7月	延岡市高齢者職業相談室が開設した。
44年 4月	財団法人延岡開発公社を設立した。	8月	上村春樹五段がモンテリオールオリンピックの柔道無差別級で金メダルを獲得した。
10月	川島橋が架け替えられた。	12月	延岡総合地方卸売市場が開設した。
10月	延岡総合職業訓練所が延岡総合高等職業訓練校と改められた。	52年 4月	木工団地が操業を開始した。
12月	延岡・三重線が国道に昇格した。	4月	県立延岡東高校が開校した。
45年 1月	名誉市民仲田又次郎氏が逝去した。	7月	「まつりのべおか」第1回が開催された。
6月	旭化成レオナ工場が建設された。	7月	延岡新港の使用が始まった。
11月	市街化区域、市街化調整区域等を告示した。	10月	延岡市社会教育センターが開館した。
46年 1月	房野博氏が再び市長に就任した。	53年 2月	宗茂選手が別大マラソンで世界歴代2位のタイムで優勝した。
3月	細島―川崎間にカーフェリーが就航した。	4月	県立南養護学校が開校した。
7月	西階遊泳場が完成した。	10月	市営火葬場を追内バイパス沿いに建設した。
10月	宮崎県北部広域市町村圏協議会が発足した。	11月	早生隆彦氏が市長に就任した。
10月	延岡湾栽培漁業センターが完成した。	12月	追内バイパスが開通した。
47年 4月	一ヶ岡小学校が開校した。	12月	浦城～島浦間にカーフェリーが就航した。
5月	県総合庁舎が愛宕町に新設された。	54年 3月	島浦簡易水道海底送水工事が完了した。
6月	妙田下水処理場が運転を開始した。		
7月	国鉄高千穂線が開通した。		
48年 2月	市制施行40周年に緑化都市宣言を行った。市の木（くろがねもち）、市の花（カンナ）、市の花木（フジ）が選定された。		
2月	延岡新港の建設が始まった。		
4月	天皇・皇后陛下が城山公園等をご視察された。		

16-8. 延岡市のあゆみ(つづき)

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和54年 4月	東九州自動車道路対策室を設置した。	昭和60年 4月	尾崎宮農集会所、安井地区漁村センターが完成した。
7月	土々呂海浜公園市営プールが完成した。	4月	西階通線が開通した。
8月	市民体育館が建設された。	5月	西階汚水中継ポンプ場が完成した。
10月	国民体育大会秋季大会が各会場で行われた。	6月	須美江家族旅行村「サンビーチすみえ」がオープンした。
10月	福井県坂井郡丸岡町(現在の坂井市)と姉妹都市提携・調印式を行った。	10月	若山牧水生誕100年記念式典が行われた。
55年 4月	西階運動公園でコブラ事件が発生した。	11月	延岡総合文化センターが完成した。
4月	市水道局庁舎、島浦開発センター上南方大橋がそれぞれ完成した。	11月	内藤政挙公の銅像が復元された。
4月	土々呂バイパス建設に着手した。	61年 3月	郵政省の「テレトピア構想」のモデル都市に指定された。
8月	メドフォード市(アメリカ合衆国)と姉妹都市提携・調印式を行った。	3月	日本道路公団福岡建設局土々呂バイパス工事事務所が設置された。
12月	国道10号線延岡大橋が完成開通した。	3月	若葉通線が開通した。
56年 3月	一ヶ岡地区の住居表示が実施された。	4月	牧水像が総合文化センター広場に建立された。
8月	一ヶ岡中央公園球技場が完成した。	4月	土々呂ミニバイパスが開通した。
9月	延岡家畜市場が完成した。	8月	土々呂道路(下伊形～門川町加草間)建設に着手した。
57年 4月	市営弓道場が西階町に完成した。	9月	市議会議員の定数を4人減の32人とする議案が可決された。
6月	一ヶ岡小学校でボーナス強盗事件が発生した。	11月	早生隆彦氏が三たび市長に就任した
8月	浜川公園プール、舞野地区多目的研修施設が完成した。	11月	皇太子御夫妻が24年ぶりに来延、ベンベルグ工場をご視察された。
11月	早生隆彦氏が再び市長に就任した。	62年 2月	青少年育成センターが完成した。
58年 2月	市制50周年記念式典で健康都市宣言をした。	3月	土々呂道路(塩浜町～伊形町間)、一ヶ岡環状線が開通した。
3月	姉妹都市メドフォード市からリバーズ高校生のスポーツ親善団がきた。	4月	伊形小学校が開校した。
3月	熊野江基幹集落センターが完成した。	4月	農村婦人研修センターがオープンした。
7月	行藤少年自然の家が開設した。	9月	東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線が国土開発幹線自動車建設法に組み入れられた。
11月	第1回産業まつりが開かれた。	63年 3月	旭化成工業株式会社代表取締役会長 宮崎輝氏に名誉市民の称号が贈られた。
59年 2月	愛宕山山林火災で84ヘクタールを延焼した。	3月	JR日豊本線に旭ヶ丘駅が開業した
7月	三輪水源が通水を開始した。	4月	東海東小学校が開校した。
8月	健康都市市民会議が発足した。	4月	鹿小路橋が開通した。
9月	大型清掃工場が完成した。	5月	建設省の「都市景観形成モデル都市」に指定された。
10月	第1回市民健康まつりが開催された。	5月	出北土地区画整理事業が完了した。
60年 1月	中小企業振興センターが開館した。	5月	ジョキング・ウオーキングコース“オリンピックロード”を開設した。
3月	鶴ヶ丘地区の住居表示が実施された。		

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和63年 6月	出北土地区画整理事業の完了に伴い、惣領町、浜砂町、出北町の一部で町の区域と名称が変わり、卸本町が新設された。	平成4年 8月	バルセロナオリンピックの男子マラソンで森下広一選手が銀メダルを獲得、市民栄誉賞を受賞した。
平成元年 1月	7日、昭和天皇崩御により、8日付、年号が「平成」となる。	8月	全国高校総合体育大会が開催された。(延岡会場7/31～8/12)
1月	東九州自動車道延岡一清武間が基本計画路線に決定した。	10月	広域農道橋「祝子清流橋」が開通した。
4月	J R高千穂線が高千穂鉄道株式会社として第3セクターによりスタートした。	5年 2月	市制施行60周年記念式典で延岡市長寿社会ハートフル憲章を制定した。
4月	延岡地区夜間急病センターがオープンした。	3月	五ヶ瀬橋が架け替えられた。
4月	知的障害者通所授産施設「のぞみ園」が開所した。	3月	安井小学校が98年の歴史を閉じ、閉校となった。
2年 2月	上伊形町～門川町加草までの3.8kmに自動車専用道、延岡南道路が開通した。	6月	地球環境保全都市を宣言した。
4月	延岡コンピューター・アカデミーが開校した。	8月	世界選手権大会で中村佳央選手が柔道86kg級で金メダル、安部友恵選手が女子マラソンで銅メダルを獲得した。
4月	行藤の滝が「日本の滝100選」の第8位に選ばれた。	6年 2月	櫻井哲雄氏が市長に就任した。
11月	早生隆彦氏が四たび市長に就任した。	3月	ヘルストピア延岡がオープンした。
3年 3月	松山橋が架け替えられた。	9月	県北地方拠点都市地域に指定された。
3月	内藤政道氏に名誉市民の称号が贈られた。	10月	国道10号延岡道路・延岡北方線・延岡インター線が都市計画決定した。
3月	高齢者福祉対策10ヵ年指針が策定された。	7年 3月	ビーチの森すみえ・すみえファミリー水族館がオープンした。
4月	テレビネットワーク延岡が開局した。(現在の株式会社ケーブルメディアワイワイ)	3月	名誉市民内藤政道氏が逝去した。
4月	延岡市衛生センターが完成した。	8月	延岡西部大規模複合産業団地(クレアパーク延岡)計画が発表された。
9月	第3回世界陸上選手権男子マラソンで谷口浩美選手が優勝、市民栄誉賞を受賞した。	12月	国道10号延岡道路の幅杭打ちが始まった。
9月	祝子地区に農業集落排水処理施設が完成した。	8年 2月	学校法人加計学園(現在の高梁学園との間で4年制大学立地に関する基本協定の調印式が行われた。
11月	延岡市東京事務所が開設された。(平成6年3月閉鎖)	5月	北方延岡道路と延岡インターアクセス道路が事業に着手した。
11月	日豊本線(延岡～宮崎間)高速化事業の実施が決定した。	7月	アトランタオリンピック柔道競技で中村兼三選手が金メダル、中村行成選手が銅メダルを獲得した。
12月	高規格道路「延岡外環状線」建設計画が発表された。	11月	ねんりんピックが開催された。
4年 5月	浜砂ダムが完成した。	12月	東九州自動車道延岡～西都間が整備計画路線に、同蒲江～延岡間、九州横断自動車道矢部～延岡間が基本計画路線に昇格した。

16-8. 延岡市のあゆみ(つづき)

年 月	事 項	年 月	事 項
平成9年 2月	「カルチャープラザのべおか」がオープンした。	平成12年 8月	国道388号浦城バイパス（延岡市～北浦町）が開通した。
4月	リサイクルプラザ「ゲン丸館」が操業開始した。	13年 1月	延岡道路の延岡ジャンクションインターチェンジと市街地を結ぶ一般県道延岡インター線が部分開通した。
5月	福島県いわき市と兄弟都市の盟約を結んだ。	3月	「若山牧水青春短歌大賞」の第1回表彰式が行われた。
7月	下三輪～吉野間に広域農道橋「岩熊大橋」が完成した。	5月	須美江海水浴場が「日本の水浴場88選」に認定された。
10月	「延岡城址新能」が開催された。	10月	五ヶ瀬川の鮎焼きが「かおり風景百選」に認定された。
10月	世界柔道選手権で中村兼三選手が金、篠原信一選手が銀、中村佳央選手が銅メダルを獲得した。	14年 1月	天下橋が開通した。
10年 1月	櫻井哲雄氏が再び市長に就任した。	1月	櫻井哲雄氏が三たび市長に就任した
4月	県立延岡病院の改築に合わせ、小児科に周産期センターが併設された。	8月	河川学習館「リバーパル五ヶ瀬川」がオープンした。
7月	北方、北川、北浦町と広域ごみ処理協定を結んだ。	15年 1月	延岡市・北方町・北川町・北浦町任意合併協議会が設置された。
8月	県立延岡病院にリハビリテーション科が開設され、県北における地域医療の更なる充実が図られた。	2月	市政70周年記念式典で「未来を拓く人づくり都市宣言」を発表した。
9月	J R延岡駅が33年ぶりに改装された。	4月	九州保健福祉大学に薬学部が新設された。
10月	国道326号 北川町～三重町（大分県豊後大野市）が全線開通した。	9月	天下一薪能がドイツ公演を行った。
10月	「大瀬橋」が開通した。	16年 6月	国道10号線延岡道路「寺畑谷第1トンネル」の貫通式が行われた。
12月	アジア大会男子1万メートルで高尾憲司選手が金、男子マラソンで真内明選手が銀、柔道100キロ超級で篠原信一選手が金メダルを獲得した。	7月	高野トンネル開通。
11年 2月	新浦城トンネルが貫通した。	7月	「日本夜景遺産」に、県内で唯一愛宕山公園からの夜景が選ばれた。
3月	延岡駅前広場が完成し、歴代オリンピック選手の「手形・足形モニュメント」が設置された。	8月	台風16号、18号、21号、23号が相次いで来襲し大きな爪あとを残した。
3月	「津波情報システム」を導入した。	12月	「美しい日本の歩きたくなる道500選」に愛宕山の登山道が選ばれた。
4月	九州保健福祉大学が開学した。	12月	延岡若あゆ大橋連結。
8月	世界陸上選手権男子マラソンで、佐藤信之選手が銅メダルを獲得した。	17年 2月	延岡市・北方町・北浦町の1市2町が合併協定書に調印した。
10月	柔道世界選手権で篠原信一選手が100キロ超級と無差別級で、2つの金メダルを獲得した。	4月	延岡道路の一部(延岡JCT-延岡南IC間)併せて延岡インター線が開通した。
12月	柔道の篠原信一選手に延岡市民栄誉賞が贈られた。	4月	延岡星雲高校が開校した。
12年 1月	男女共同参画都市を宣言。(県内初)	7月	松田丈志選手が世界水泳男子200mバタフライで銀メダルを獲得した。
2月	クレアパーク延岡に旭有機材工業(株) 天下工場が完成した。	8月	聖心ウルスラ学園野球部が創部4年目で、春夏を通じて初の甲子園出場の快挙を果たした。
7月	情報公開制度がスタートした。	8月	延岡学園男子バスケットボール部が全国高校総体で初優勝を果たした。

年 月	事 項	年 月	事 項
平成17年 9月	台風14号が市内各地に大きな爪あとを残した。	平成20年 4月	北方延岡道路、舞野ー北方インターチェンジ間が開通した。
18年 2月	第24代市長に首藤正治氏が就任した。	8月	北京オリンピック男子200mバタフライで、松田丈志選手が銅メダルを獲得。延岡市民栄誉賞を贈呈した。
2月	延岡市・北方町・北浦町の1市2町が合併し、新生延岡市が誕生した。	8月	全国高校総体男子バスケットボールで、延岡学園高校が2度目の優勝に輝いた。
2月	延岡市と北川町が合併協定書に調印した。	21年 3月	九州保健福祉大学と旭化成クラレメディカルが小型透析機器を共同開発した。
2月	国道218号北方延岡道路（舞野～延岡IC間）が開通した。	3月	市議会議員の定数を4人減の29人とすることを賛成多数で可決した。
5月	下阿蘇ビーチが「快水浴場百選・海の部」で特選に選ばれた。	3月	延岡市が定住自立圏構想における中心市を宣言した。
9月	台風13号に伴う竜巻により緑ヶ丘から尾崎町にかけて大被害に遭った。	4月	新清掃工場「夢の杜」が完成した。
19年 3月	延岡市と旧北川町の1市1町が合併し、新生延岡市が誕生した。市域が大分県佐伯市に次ぐ九州で第2位に拡大。	9月	「延岡市の地域医療を守る条例」が施行された。
3月	延岡西高等学校、延岡東高等学校が閉校した。	22年 1月	延岡市と周辺の県北8市町村が、定住自立圏形成の協定を締結した。
4月	合併後初となる延岡市議会議員選挙が行われ33人の新議員が誕生した。	2月	首藤正治氏が再び市長に就任した。
6月	東九州自動車道大分県境～北川間を着工。市消防本部が佐伯市消防本部と「消防相互応援協定」を締結した。	4月	宮崎県内に口蹄疫が発生し、市が対策本部を設置した。
6月	旭化成メディカル、人工腎臓を製造する新工場の進出を決定。	6月	市観光協会が「延岡発祥チキン南蛮党」を旗揚げした。
7月	新清掃工場の建設が始まる。	8月	全国高校総体柔道個人66kg級で延岡学園高校の橋口祐葵選手が優勝した。
7月	台風4号により床上浸水、床下浸水のほか富美山町青葉台地区でのり面が崩壊、公民館や住宅が被害を受けた。	11月	松山川河川工事が完成した。
8月	台風5号が直撃。五ヶ瀬川上流域で山林崩土。小川町など農林水産業に甚大な被害を及ぼす。	11月	家田第1トンネルが貫通した。
10月	旭化成プラノバ成型工場の増設工事が完成。	11月	広州アジア大会で、松田丈志選手が金銀銅の3メダルを獲得した。
11月	国の激特事業による川島排水ポンプ場が完成。	23年 1月	北川町の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した。
11月	北浦灘アジが、国の商標登録に認定された。	2月	北浦町の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した。
20年 3月	北川町の松葉・下赤・瀬口小が閉校。3校とも北川小学校に編入された。	3月	聖心ウルスラ学園短期大学が閉校した。
3月	須美江町に簡易水道施設が完成した。	3月	延岡市国民健康保険北浦診療所が、公設民営化に移行した。
3月	新消防庁舎が野地町に完成した。	4月	クレアパーク延岡工業団地第2工区（天下町）が完成。
4月	市民協働まちづくりセンターが開館した。	4月	在宅当番医（小児診療）の広域化がスタートした。
		6月	延岡市夜間急病センターの深夜診療が週3回に増加した。

16-8. 延岡市のあゆみ(つづき)

年 月	事 項	年 月	事 項
平成23年 7月	世界水泳男子200mバタフライで松田丈志選手が銀メダル獲得した。	平成25年 3月	延岡市健康長寿推進市民会議が厚生労働省主催「第1回健康寿命を延ばそうアワード2012」で同省健康局長賞（団体部門優良賞）を受賞した。
10月	第35代立行司 木村庄之助さんが県民栄誉賞受賞。	3月	「延岡西環状線」のうち、大門工区（180メートル）古川工区（407メートル）、多々良工区（615メートル）が開通した。
12月	東九州メディカルバレー構想の総合特別区域に指定される。	3月	県立延岡病院にヘリポート完備の新たに救急救命センターが完成し運用が開始された。
12月	全国高校総体男子バスケットボールで、延岡学園高等学校が3年ぶり3度目の優勝を果たした。	3月	東京ガールズコレクションが開催され、約1万5千人が来場した。
24年 2月	市が「自治体クラウドシステム」の本稼働を開始した。	8月	第95回全国高等学校野球選手権夏の大会で延岡学園高校野球部が準優勝した。
2月	「FMのべおか」が開局した。	26年 2月	首藤正治氏が延岡市長に当選し、3選を果たした。
2月	延岡わかあゆ支援学校、延岡ととろ聴覚支援学校、延岡たいよう支援学校で閉校式が行われた。	2月	延岡花物語このはなウォークが開催された。
3月	新斎場「いのちの杜」が完成した。	2月	北方小学校、城小学校、三極小学校美々地小学校、北方中学校の合同閉校式が行われた。
3月	方財町と須崎町を結ぶ災害時の緊急連絡路が完成した。	2月	浦城中学校、熊野江中学校の閉校式が行われた。
4月	県立しろやま支援学校が開校した。	3月	東九州自動車道北浦～須美江間、日向～都農間が相次いで開通した。
4月	宮崎県内でドクターヘリの運航が開始された。	3月	新最終処分場が完成した。
7月	東九州メディカルバレー構想の特区計画が国の認定を受けた。	4月	新たに黒岩小中学校、北方学園で小中一貫教育がスタートした。
7月	国土交通省が発表した水質ランキングで五ヶ瀬川が全国1位となった。	4月	新たに南浦中学校が誕生した。
8月	松田丈志選手がロンドンオリンピック競泳男子200メートルバタフライで銅メダルを、男子400メートルメドレーリレーで銀メダルを獲得した。	5月	災害時の情報発信強化に向け、ケーブルメディアワイワイと延岡市が緊急放送に関する協定を締結した。
8月	全国高校総体男子バスケットボールで延岡学園高校が2連覇を達成した。	6月	メディカルタウン構想が「第1回ヘルスケア産業づくり貢献大賞」特別賞に選ばれた。
8月	競泳の松田丈志選手が市民栄誉賞特別賞を受賞した。	7月	北浦IC - 須美江ICエリアの愛称を公募した結果「ひむか遊パークうみウララ」に決定した。
9月	競泳の松田丈志選手が県民栄誉特別賞を受賞した。	7月	五ヶ瀬川が2年ぶりに水質日本一に返り咲いた。
12月	東九州自動車道 須美江～北川間が開通した。	7月	E T Oランドのスキー場跡に太陽光発電施設が完成した。
25年 2月	市制施行80周年記念式典が開催され、公募された歌詞を3番に追加した市歌が披露された。		
2月	東九州自動車道 蒲江～北浦間が開通した。		
2月	北浦町の北浦小学校宮野浦分校で閉校式が行われ、新年度から北浦小学校に編入されることになった。		

年 月	事 項
平成26年 8月	まちなか循環バスの愛称が「しろやま号」（内回り）と「あたご号」（外回り）に決定した。
8月	九州初となる広域医療搬送訓練が宮崎、大分、鹿児島県で実施された。
9月	J R延岡駅前に建設する複合施設の連携民間事業者にカルチュア・コンビニエンス・クラブを選定した。
10月	琴恵光充憲氏が県内で32年ぶりの十両に昇進した。
10月	旧延岡藩主内藤家から100点を超える美術工芸品や歴史資料等の寄贈を受けた。
10月	北方町の「よっちみろ屋」が県内で17番目の道の駅に登録された。
10月	宮崎・大分両県で祖母傾山系のユネスコエコパーク登録を目指すことが公表された。
12月	延岡駅の跨線橋工事が開始された。
12月	東小学校の新校舎が完成した。
12月	北川町の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した。
27年 1月	野口記念館が寄贈60周年を迎えた。
2月	多々良土地区画整理事業が完了した。
2月	市役所新庁舎高層棟が完成した。
2月	上南方小・南方中で閉校式が行われ、新年度から小中一貫教育がスタートすることになった。
3月	N T T と市が避難所12カ所に特設公衆電話を設置する協定を締結した。
3月	国土交通省延岡河川国道事務所と市が防災情報の提供と利用に関する協定を締結した。
3月	区長連絡協議会、県宅地建物取引業協会県北支店延岡地区と市が区加入促進に向け協定を締結した。
3月	北川町の国道10号はゆまトンネルが開通した。
3月	東九州自動車道佐伯一蒲江間が開通し、本市と大分市が高速道路で結ばれた。
4月	九州保健福祉大学に生命医科学部が新設された。
4月	国道218号北方延岡道路が全線開通

年 月	事 項
平成27年 6月	内藤記念館の再整備に向け、基本構想・基本計画を策定した。
6月	共立病院において小児科が新設された。
8月	五ヶ瀬川の水質が3度目の日本一の栄誉に輝いた。
9月	五ヶ瀬川兩岸の壘堤が選奨土木遺産に認定された。
10月	天下一薪能に狂言師野村萬斎氏が初出演した。
10月	60年ぶりに本市で九州市長会が開催された。
11月	「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジinのべおか」が3日間にわたって開催され、約17,000人が市内外から参加した。
28年 1月	土々呂コミュニティセンターが開所した。
1月	道の駅「北川はゆま」が地方創生の核となる重点道の駅に選定された。
2月	旧高千穂鉄道の行膝川橋梁が撤去された。
2月	延岡市合併10周年記念式典を開催した。
3月	道の駅北川「はゆま」が開駅20周年を迎えた。
4月	北浦臨海パーク「きたうらら海市場」がグランドオープンした。
5月	延岡市・佐伯市の両市長が「東九州バス化宣言」を行った。
7月	10日に行われた参議院議員通常選挙では満18歳以上が選挙権年齢となり、イオン九州延岡店内と九州保健福祉大学に期日前投票所が設置された。
8月	長浜町に津波避難タワーが完成した。
8月	リオデジャネイロオリンピックの柔道で大野将平選手が金メダル、永瀬貴規選手と羽賀龍之介選手が銅メダル、競泳で松田丈志選手が銅メダルを獲得した。
9月	延岡市とイオン(株)が延岡新時代総合戦略に基づく包括協定を結んだ。
9月	台風16号により、北川町を中心に広範囲で浸水被害が生じた。

16-8. 延岡市のあゆみ(つづき)

年 月	事 項	年 月	事 項
平成28年 9月	民間主導による駅前街区の整備や商店街再生に取り組む(株)まちづくり延岡が設立された。	平成30年 2月	第27代市長に読谷山洋司氏が就任した。
9月	柔道の羽賀龍之介選手が「市民栄誉賞」、競泳の松田丈志選手が「市民栄誉賞特別賞」、久世由美子コーチが「市民特別功労賞」、大野将平選手と永瀬貴規選手が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。	3月	延岡学園高等学校が12年ぶり3回目の選抜高校野球大会に出場した。
10月	羽賀龍之介選手が「県民栄誉賞」、松田丈志選手が「県民栄誉特別賞」、久世由美子コーチが「県特別功労賞」を受賞した。また大野将平選手と永瀬貴規選手に「スポーツランドみやざき特別表彰」が贈られた。	4月	延岡市駅前複合施設エンクロスが開館した。
10月	「エンジン02 in のべおか」が開催され、市内外から延べ約2,000人が参加した。	4月	かわまち広場、かわまち交流館がオープンした。
11月	延岡市役所新庁舎がグランドオープンした。	6月	琴恵光関が延岡市出身力士として51年ぶりとなる幕内昇進を果たした。
29年 1月	延岡市内の三つの道の駅が経営統合し、のべおか道の駅(株)が発足した。	7月	延岡市立図書館が宮崎県立延岡図書館として開館してから100周年を迎えた。
1月	旭化成陸上部が全日本実業団対抗駅伝で18年ぶり、大会最多となる22度目の優勝を果たした。	8月	第18回アジア競技大会柔道で、大野将平選手と小林悠輔選手が金メダル、女子ハンドボール競技で原希美選手が銅メダルを獲得した。
3月	旭化成(株)より野口記念館建替えの建設費用のため、市に30億円が寄付された。	9月	全国高校総体弓道競技男子団体延岡学園高等学校が初優勝した。
6月	祖母・傾・大崩の山系が、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」として登録された。	11月	キャスレーコンサルティング(株)が地方拠点を延岡市幸町に設置した。
9月	台風18号により、北川町を中心に広範囲で浸水被害が生じた。	11月	延岡市で初めて台湾・新北市の高校生の修学旅行を受け入れ、農家民泊を通じた地元との交流が行われた。
11月	マイナンバーカードを活用した住民票交付サービスがコンビニで開始された。	12月	NHK大河ドラマ「西郷どん」の西南戦争の1シーンで延岡市が登場。
11月	のべおか国際食卓会議が開催された。	31年 1月	旭化成陸上部が全日本実業団対抗駅伝において3連覇を果たした。
12月	市議会議員定数を2人削減の27人とする議員定数条例の一部改正案を賛成多数で可決した。	令和元年 5月	上皇陛下の退位により、1日付、年号が「令和」となる。
30年 1月	旭化成陸上部が全日本実業団対抗駅伝において2年連続優勝を果たした。	6月	64年の歴史に幕を下ろし、野口記念館が閉館した(令和4年3月現在、建替え中で、同年12月に野口遵記念館としてリニューアルオープン予定)。
2月	首藤正治延岡市長が退任した。	8月	台風8号により、北浦町で住宅が浸水するなど広範囲で被害が生じた。
		8月	東京の消費力と人材、情報を活用するため第一勧業信用組合と連携協定を締結した。
		9月	竜巻が市街地を通過し、大きな被害が生じた。
		9月	第19回アジア競技大会男子柔道で旭化成所属の大野将平選手、小林悠輔選手が金メダルを獲得した。

年 月	事 項
令和元年 9月	教育・子育ての取組を推進するため東京学芸大学と連携協定を締結した。
10月	消防署延岡南分署の運用を開始した。
10月	成年後見制度の利用促進を目的として「権利擁護センター」を1市3町（西臼杵）で設置した。
12月	市民に長年愛された「のべおか日曜市」が、37年の歴史に幕を閉じた。
12月	旭化成株式会社名誉フェローの吉野彰氏がリチウムイオン電池の発明により「ノーベル化学賞」を受賞した。
2年 1月	旭化成陸上部が全日本実業団対抗駅伝において、4連覇を達成した。
2月	教育委員会と旭有機材株式会社が人材交流協定を締結した。
3月	富美山コミュニティセンターが開所した。
3月	ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏へ名誉市民の称号を贈った。
3月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため市立小中学校が3月2日から4月6日まで臨時休校となった。
4月	国が緊急事態宣言を発令、県内は16日から5月25日まで活動を自粛した。
5月	城山の鐘の鐘守制度を継承・継続している延岡市の取組が環境デザイン賞を受賞した。
9月	保育士養成校「小田原短期大学延岡スクール」が開校した。
9月	半導体製造工場の旭化成マイクロシステム延岡事業所で火災が発生した。
9月	延岡市駅前複合施設エンクロスを中心とした「延岡駅周辺整備プロジェクト」がグッドデザイン賞2020の金賞に選ばれた。
12月	「愛宕山展望台から望む月」が日本百名月（第57号）に認定登録された。
12月	旧高千穂鉄道の旧網ノ瀬橋梁（延岡市）と旧第三五ヶ瀬川橋梁（日之影町）の2つの橋が国の重要文化財に指定された。
12月	「五ヶ瀬かわまちづくり」が九州で初となる令和2年度「かわまち大賞」（国土交通大臣表彰）を受賞した。

年 月	事 項
令和3年 1月	宮崎県は新型コロナウイルス感染症第3波による県独自の緊急事態宣言を発令した。（1月7日～2月7日）
4月	1年延期の東京2020オリンピック聖火リレーが延岡市でも行われた。
4月	延岡市パートナーシップ宣誓制度を導入した。
5月	宮崎県は新型コロナウイルス感染症第4波による県独自の緊急事態宣言を発令した。（5月9日～5月31日）
7月	東京2020オリンピックの男子柔道で旭化成所属の大野将平選手、永瀬貴規選手が金メダル、男子20km競歩で池田向希選手が銀メダルを獲得した。
8月	宮崎県は変異した新型コロナウイルス感染症（デルタ株）による第5波の感染拡大を受け県独自の緊急事態宣言を発令。（8月11日～9月30日）
10月	国民文化祭・障害者芸術文化祭が1年遅れで7月3日～10月17日の期間に縮小開催され、市民が様々な文化・芸術に触れる機会となった。
11月	「Out of KidZania in のべおか」で市内の小中学生が26種の職業体験やSDGsについて学ぶ機会となった。
11月	延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」がオープンした。一時預かりや病後児保育、子育て相談など若い世代の支援施設として期待。
12月	令和3年成人式が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3度の延期を経て、30日に開催された。
12月	42年間続いてきた「まつりのべおか」が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2年連続で中止となったが、30日に16か所で規模を縮小し、花火の打上げを行った。
令和4年 1月	新型コロナウイルス感染症の新たな感染拡大（オミクロン株）による第6波で、感染急増圏域の指定を受け、2月2日まで行動自粛要請が出された。しかし感染拡大が収まらず、過去最高の感染者数となり、県内全域にまん延防止等重点措置が取られ、行動自粛要請が続いた。

年 月	事 項
令和4年 1月	子どもの遊び場の提供や子育て相談、病後児保育、一時預かり保育などのサービスを備えた子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」がオープン。
3月	新たなビジネス拠点となる延岡駅西口街区ビルが開業。同ビル2階に、延岡市コワーキングスペースを開設。
4月	子どもたちの学びの更なる充実のため、島野浦小・中学校が一つになり、延岡市初の義務教育学校「島野浦学園」として開校。
5月	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3年ぶりにゴールデンゲームズ in のべおかが開催。大会新記録の樹立や世界選手権の参加標準記録の突破など好記録が生まれた。
5月	子どもたちが自分らしく生きられる社会の実現へ向け、「延岡こども未来創造機構」の事務所を開設。
7月	延岡市出身タレントの酒井瞳さんを「のべおか健康アンバサダー」に任命。
9月	大型で非常に強い台風14号が、18日深夜から19日未明にかけて延岡市に最接近。市内各所で大規模な被害を及ぼした。
9月	延岡の歴史・文化について楽しく学び、体験することができる施設「延岡城・内藤記念博物館」がオープン。
10月	織田さんと牛の「みほのふじ号」が、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に、東臼杵地域から35年ぶりに出場。3区（若雌の2）で全国3位の快挙。
12月	音響面を重視したホールや、多目的に活用できるフリースペース、野口遵翁の人物像などを伝える展示ギャラリーなど、多様な機能を備えた「野口遵記念館」がオープン。
令和5年 2月	県が昭和58年から整備を進めてきた「広域農道 沿海北部地区」の伊形町～門川町加草間(2.3km)が開通。
2月	2月11日に市制施行90周年を迎え、延岡総合文化センターで記念式典を開催。

年 月	事 項
令和5年 2月	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3年ぶりに「第61回延岡西日本マラソン」が開催された。本大会では佐藤航希選手（延岡市出身）が初マラソンで初優勝を果たした。
4月	妊娠・出産・子育てなどの相談と、子どもへの虐待や不登校問題などの相談を一元化した、「こども家庭サポートセンター」を新設。
4月	九州三大春祭りの一つとされる、延岡今山大師祭が開催され、4年ぶりに市中パレード・物産展が行われた。
5月	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、インフルエンザなどと同じ5類へ移行。
7月	再整備のため「西階野球場」58年の歴史に幕。今後、令和9年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、新しく生まれ変わる。
8月	アスリートタウン延岡アリーナサブアリーナ（新宮崎県体育館）が完成。これまでの市民体育館の機能を担い、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会や屋内スポーツの拠点などとして、今後の活用を期待。
10月	鳥獣被害の解決や狩猟者の育成などを目的とした「のべおか里山塾」が開校。
11月	城山公園をより魅力ある公園にするため、県内初となるPark-PFIを活用した整備を行い、コメダ珈琲店がオープン。

延岡市統計書

令和5年版

令和6年3月発行

編集発行

延岡市企画部企画課統計調査係

TEL0982(20)7178